

教育目標: ○進んで学ぶ子 ○心を磨く子 ○健康に過ごす子 (わかば学級)○得意なことを頑張る、苦手なことにも挑戦する子 ○友達と仲良くする子 ○きまりを守る子 ○自分のことは自分でする子

目指す学校像: 毎日通うのが楽しい学校、当たり前前ができる学校、見える学校・話の出来る学校

目指す児童・生徒像: 自らを高め、互いに支え合い、楽しく充実した学校生活を送ることのできる児童

目指す教師像: 指導力に優れた教師、児童、保護者、地域から信頼される教師、組織的な学校運営にすすんで参画できる教師

| 領域 | 中期目標 | 短期目標 | 具体的方策 | 努力指標 (中間) | 努力指標 (最終) | 成果指標 (中間) | 成果指標 (最終) | 今後の課題 | 学校関係者評価記入欄 |
|-----------|--|---|--|--------------|--------------|--------------|--------------|--|---|
| 確かな学びの定着 | ○基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着と、思考力・判断力・表現力を育成する。 ○主体的、対話的で深い学びの実現を目指し、授業改善を推進する。 | ○「授業改善推進プラン」をもとにした授業改善を図り、基礎・基本の確実な定着を図り、思考力・判断力・表現力を育成する。 | 週ごとの指導計画を作成し、指導と評価の一体化を図り、授業改善を推進する。 | 4 | | 4 | | 授業改善推進プランに沿って、「わかる楽しさ」「できる喜び」を感じられる授業づくりを行う。個に応じた指導を丁寧に行い、学力の向上を図る。 | 日々の個別指導、夏季休業中の補習、サポート教室での個別学習など、個に応じた指導が行われている。引き続き丁寧な指導をお願いしたい。 |
| | | | 一人1台のタブレットやICT機器を活用し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る。 | 3 | | 4 | | 一人一台のタブレットやICTを活用した授業実践を全教員が積み重ね、保護者公開等で積極的に取り組みを発信していく。 | タブレットやICTを活用し、探究的な学習など児童が主体的に取り組む学習を充実させてほしい。 |
| | | | 国分寺学の創設に向け、地域人材や地域環境を活用した体験的な学習を再構築する。 | 1 | | 4 | | 各学年で具体的な地域教材の開発を行い、2、3学期に実施・検証する。 | 二小地域の特色を生かした学習を開発していく必要がある。二小の売りになる具体的なテーマがあるとよい。 |
| 豊かな人間性の育成 | ○「全ての人大切にされる街宣言」の具現化に向け、児童の豊かな心の育成や望ましい人間関係を構築する力を育成する。 | ○人権教育や生活指導の一層の充実を図り、いじめを予防し、児童の規範意識を高める。 ○児童の豊かな感性を育み、道徳性の向上を図る。 | 組織的にいじめ問題に対応し、児童が主体的にいじめ防止に取り組む活動の充実を図る。 | 4 | | 3 | | いじめ防止に関する取り組みを「学校だより」で発信する。「いじめ防止フォーラム」への参加や代表委員会の活動など児童の主体的な活動を充実させる。 | 二小の児童は挨拶がとても良い。引き続き規範意識を高め、いじめや差別のない学校づくりに取り組んでほしい。 |
| | | | ・「考える道徳、議論する道徳」を推進する。 ・発達段階に応じて学級会活動を年に10回以上実施する。 | 4 | | 3 | | 教員が「特別の教科道徳」「学級会」の指導について学び合うことで、指導力向上を図る。毎週の道徳授業、年間10回以上の学級会を確実に実施する。 | スポーツフェスティバルでは、特別支援学級の児童が走る姿を通常学級の児童が積極的に応援する様子があり、心を動かされた。今後も豊かな感性や温かい人間関係を育む教育活動を進めてほしい。 |
| 開かれた学校づくり | ○「見える学校・話のできる学校」となることで、家庭・地域と課題を共有しその解決を図る。 | ○あらゆるツールを活用し、学校の発信力を高め、保護者・地域との連携を深め、協働関係を築く。 | ・学級だよりを毎月1回発行する。 ・二小ブログを毎日更新する。 | 3 | | 4 | | 月1回以上の「学級だより」と毎日の「二小ブログ」で、引き続き児童の具体的な様子を伝えていく。 | 二小ブログはきめ細かく情報が掲載されていて、学校の様子がよく分かる。有効な情報発信手段であるから、引き続き発信してほしい。 |
| | | | 保護者・地域に学校を公開し、事後のアンケートを活用して教育活動の改善を図る。 | 4 | | 2 | | 保護者ボランティアなどと連携し教育活動の充実を図る。また学校運営協議会委員のご意見を生かし、改善を進める。 | 努力指標と成果指標の差が大きい。差を無くすため、学校・保護者・地域が課題を共有し、改善する必要がある。 |